

あいであ & アイデア

手軽に作れて有効利用！ 餌箱で「ふんかき棒」

黒木 強

分娩豚舎における哺乳豚の良好な発育や疾病の水平感染防止等のため、老朽化したり壊れて不要となったステンレス製餌箱を使って手軽に作れるT字型の「ふんかき棒」を紹介します。

きっかけ

私は、鹿児島県肝付町でパークシャー種母豚120頭の一貫経営を営んでいますが、疾病対策には特に気を使っており、色々と工夫・実践してきました。

その1つとして、哺乳豚の良好な発育と事故軽減のために、分娩ゲージ内を常に清潔に保ちたいと考え、手軽に分娩ゲージを清掃できるものとして、不要となった餌箱の再利用を思いつき、作成してみました。



手軽に作れるT字型の「ふんかき棒」

「ふんかき棒」の作り方

- ①ふんをかき出す部分に、老朽化したり壊れて不要となった餌箱を解体したステンレス板を切断機で幅25cm、高さ9cmの半円形にくり抜きます。カーブの頂部に、長さ15cmに切った直径8mmのステンレス製の棒をL字に加工し、溶接します。
- ②5～7cmに切った直径3.2cmのステンレス製のパイプをL字型の棒の下に溶接し、くぎが入るほどの大きさの穴をドリルなどで開けます。

- ③柄の部分は、長さ180cm・直径3cmの棒を半分(90cm)に切断します。

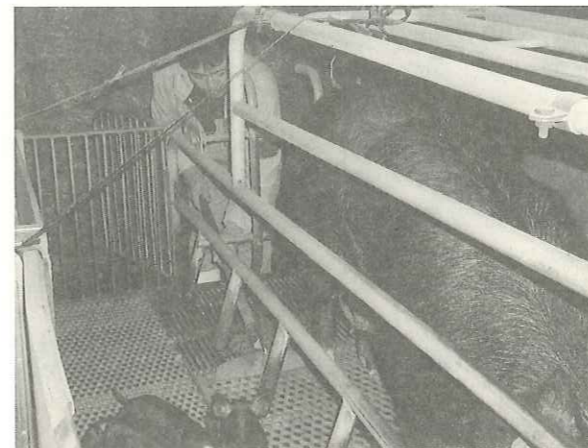
- ④最後にステンレス製のパイプに柄を差し込んで、くぎで止めれば完成です。



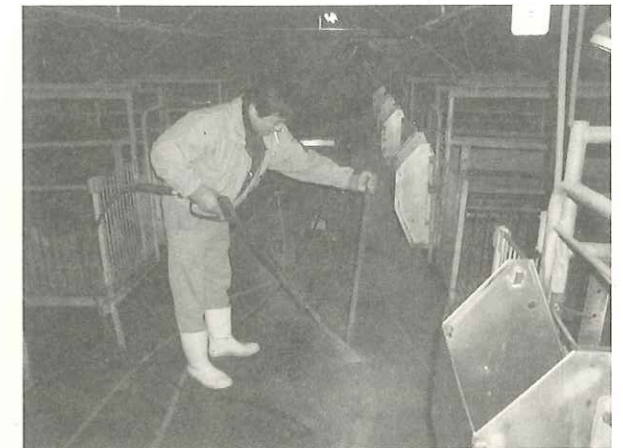
「ふんかき棒」全体写真

木の柄とステンレス製の棒、パイプはホームセンターで購入し、費用は1本当たり600円程度です。

餌箱の大きさにもよりますが、1つの餌箱のステンレス部分から何個も作成でき、1本当たりの作成時間も15分程度と手軽にできます。



作業風景



使用後は高温高圧洗浄機で熱消毒

「ふんかき棒」の利用方法

60ゲージある分娩舎に常時25～35頭の母豚がいますが、分娩ゲージ内に残ったふんを、毎日「ふんかき棒」で清掃しています。

疾病の水平感染防止にも細心の注意を払っているため、「ふんかき棒」は必ず1ゲージにつき1本の利用としています。

そのため、現在約40本の「ふんかき棒」を利用し、1本で複数の分娩ゲージを清掃することはありません。

また、1腹ごとに離乳まで使用した「ふんかき棒」は、高温高圧洗浄機で熱消毒しています。



きれいな分娩ゲージの中で粒の揃った哺乳豚

「ふんかき棒」としての用途以外にも、哺乳豚の保温箱などへの追い込みなどにも便利です。

このように不要となった餌箱を再利用して手軽に作れるこの「ふんかき棒」が、私の経営では分娩舎の良好な環境保持と疾病防止・事故率低減対策に一役買っています。

(筆者：鹿児島県肝付町・養豚一貫経営)

あいであ & アイデア